

# 平成23年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		高齢者保健福祉施策の推進		款	4	項	1	目	2	事業	6	整理番号	149						
担当部課名		保健福祉部高齢者施策課		係名	管理係			連絡先電話番号	1162		昨年度整理番号	146							
上位施策No・施策名		30 高齢者の社会参加と交流の拡大		予算事業区分								既定事業							
事務事業の概要	事業開始	平成	▼	13	年度	<input checked="" type="checkbox"/>	実施計画事業	分野	2	政策番号	3	施策番号	2	事業コード	4	<input type="checkbox"/>	行革計画事業	<input checked="" type="checkbox"/>	主要事業
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理 ○高齢化社会の抱える課題に対し、総合的な検討を行い、施策立案に向けた取り組みや計画の策定を行います。																	
	事業の目的・目標	(対象をどのような状態にしたいのか) ○高齢者が介護が必要になっても住み慣れた地域で生活できる環境づくりや生活支援を行い、安全と安心感を高めまます。また、高齢者が生涯現役でいきいきとした生活を送ることを支援します。																	
	活動内容	(事務事業の内容、やり方、手順) ○高齢者実態調査(実施年度:22年度) ○「高齢者のしおり」の発行(実施年度:21年度) ○介護保険事業計画の策定(実施年度:20年度) ○高齢者訪問面接調査のあり方検討会の開催																	
根拠法令等		(1) 介護保険法 (2)																	
活動指標名(式)		(1) 調査件数 (2) 高齢者のしおり発行部数																	
成果指標		※(代)=適当な指標がない場合の代替指標																	
成果指標名(1)		(代) 高齢者実態調査票の回収率																	
算定式・指標の説明等		回答数÷調査件数																	
成果指標名(2)		区が高齢者福祉施策に力を入れていると評価している区民の割合																	
算定式・指標の説明等		区民意向調査による																	
区分		単位	20年度		21年度		22年度		23年度		計画(目標値)に対する22年度の達成率 %								
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画	実績										
指標	活動指標(1)	①	円	0	0	0	9,644	9,644	0	100.0									
	活動指標(2)	②	冊	0	0	0	0	0	0	0.0									
	成果指標(1)	③	%	0.0	0.0	0.0	80.0	69.9	0.0	90.0									
	成果指標(2)	④	%	6.0	10.0	5.3	10.0	7.7	10.0	60.0									
総事業費・コスト把握	事業費	⑤	千円	11,300	20,891	18,245	8,394	6,363	7,240	22年度予算執行率% 75.8									
	(内) 投資的経費等	⑥	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項 活動指標及び成果指標 主な事業が単年度の事業であり、当該年度により指標が異なります。									
	(内) 委託費	⑦	千円	8,171	9,478	8,680	5,154	3,969	3,702										
	職員数(常勤 非常勤)	⑧	人	3.28 0.00	3.20 0.00	3.41 0.00	3.20 0.00	3.13 0.00	3.10 0.00										
	人件費	(内) 常勤職員分(超勤分含)	⑨	千円	29,684	28,413	30,277	28,544	27,920			27,652							
		(内) 非常勤職員分	⑩	千円	0	0	0	0	0			0							
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪	千円	40,984	49,304	48,522	36,938	34,283	34,892										
	単位あたりコスト(⑪-⑥)÷①	⑫	円				3,830	3,555											
	財源	受益者負担分	⑬	千円	0	0	0	0	0			0							
		国からの補助金等	⑭	千円	0	0	0	0	0			0							
		都からの補助金等	⑮	千円	0	0	0	0	0			0							
		その他の補助金等	⑯	千円	0	0	0	0	0	0									
特定財源計(⑬+⑭+⑮+⑯)		⑰	千円	0	0	0	0	0	0										
差引: 一般財源(⑪-⑰)		⑱	千円	40,984	49,304	48,522	36,938	34,283	34,892										
受益者負担比率⑬÷⑪	⑲	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0											

# 平成23年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 149

22年度の事業実施状況	(1) 主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		高齢者実態調査	1	回	4,801
	高齢者訪問面接調査のあり方検討会の開催	4	回	507	
	その他 ( 高齢者施策の普及啓発、管理事務費 )			1,055	
	(2) 事業実績	113歳の高齢者の所在不明が判明したことを契機に、外部委員を含め高齢者訪問面接調査のあり方を検討した結果、より積極的に高齢者のニーズを把握し適切な支援につなげるとともに、日常的に相談できる関係づくりを目的とした「安心おたっしや訪問」を平成23年度から実施することとなりました。また、保健福祉計画の改定等高齢者施策検討のための基礎調査として、高齢者実態調査を実施しました。			

協働等点検	(1) 協働等は実現しているか	(2) 協働等の相手	
	十分に実現している	企業・個人事業者((3)へ)	
	(3) 協働等の形態	(4) 協働等の今後のあり方	
	協働[委託]	実施継続	

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	高齢者人口(高齢化率):昭和63年 57,858人(11.07%)⇒平成22年 103,894人(19.29%) ひとり暮らし高齢者:昭和63年 2,546人⇒平成22年 18,390人 介護保険認定者数:平成12年度 8,653人⇒平成22年度 18,697人
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	民生委員が調査員となっているため、個人情報を知られたくないという苦情がありました。また、質問項目が多く、質問そのものが分かりにくいという意見がありました。さらに、60～64歳台の高齢者から、自分が「高齢者」と呼ばれることに対する抵抗感があると苦情が寄せられました。
	今後の予測	団塊の世代が高齢化し元気な高齢者が増えるとともに、ひとり暮らしや高齢者のみの世帯が増加するものと思われます。高齢者が生涯現役でいきいきとした生活を送れるための支援、サービスの利用促進を図るための施策を模索するための実態調査は、今後とも必要と思われます。
	評価と課題	攻めの福祉としての「安心おたっしや訪問」事業を始め、これまで以上に高齢者が安心して暮らし続けていける環境づくりと地域の絆づくりに取り組むことが課題です。また、今後の高齢者施策のあり方を検討する基礎資料となる高齢者実態調査について、調査項目の精査や調査方法の改善を図ります。

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業の方向性	○ 拡 充      ● 現状維持      ○ 縮 小      ○ 廃 止
		II 事業の改善	○ 事業内容の変更      ● 実施方法の変更
	区の高齢者施策を展開する上で、高齢者の実態を正確に把握することは不可欠ですが、一方で、調査対象者にとっての負担感や抵抗感への配慮も必要です。 区民の負担を最小限にして精度の高いデータを得られるよう、毎年度実施されている区民意向調査の有効活用も含め、調査対象、調査項目、調査方法等、実態調査の再構築が必要です。		

特記事項	
------	--

## 平成23年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		まちの湯ふれあい入浴		款	4	項	1	目	2	事業	9	整理番号	152
担当部課名		保健福祉部高齢者施策課		係名	いきがい活動		連絡先		電話番号		1165	昨年度整理番号	149
上位施策No・施策名		30 高齢者の社会参加と交流の拡大		予算事業区分								既定事業	
事務事業の概要	事業開始	昭和	▼	49	年度	<input type="checkbox"/> 実施計画事業		分野	政策番号	施策番号	事業コード	<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 主要事業	
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理		入浴事業は65歳以上の区民と付添者、健康事業は55歳以上の区民		根拠法令等		(1) 老人福祉法第4条1項及び第13条1項 (2) 杉並区ふれあい入浴実施要綱					
	事業の目的・目標	(対象をどのような状態にしたいのか)		活動指標名(式)		(1) ふれあい入浴年間延べ利用者数 (2) まちの湯健康事業年間延べ参加者数							
	活動内容	(事務事業の内容、やり方、手順)		成果指標		※(代)=適当な指標がない場合の代替指標							
○毎週水曜日(一部火曜日)に各浴場の決められた時間帯(2時間)を100円で開放する。 ○月1～2回、手ぬぐい体操などの健康事業を行う。		成果指標名(1)		ふれあい入浴1回当りの利用者数		算定式・指標の説明等		年間延べ利用者数÷実施回数					
成果指標名(2)		まちの湯健康事業1回当りの参加者数		算定式・指標の説明等		年間延べ参加者数÷実施回数							
区分		単位	20年度		21年度		22年度		23年度		計画(目標値)に対する22年度の達成率 %		
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画	実績				
指標	活動指標(1)	①	人	72,310	108,120	102,335	103,170	95,265	93,600	92.3			
	活動指標(2)	②	人	3,261	3,264	3,946	4,340	4,208	4,290	97.0			
	成果指標(1)	③	人	54	60	58	64	60.7	60	94.8			
	成果指標(2)	④	人	10.0	10.0	10.4	11.1	11.9	11.0	107.2			
総事業費・コスト把握	事業費	⑤	千円	60,928	69,892	64,621	63,844	58,313	58,935	22年度予算執行率% 91.3			
	(内)投資的経費等	⑥	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項			
	(内)委託費	⑦	千円	60,888	69,852	64,582	63,804	58,274	58,890				
	職員数(常勤 非常勤)	⑧	人	0.40 0.00	0.40 0.00	0.40 0.00	0.40 0.00	0.40 0.00	0.40 0.00				
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	⑨	千円	3,620	3,552	3,552	3,568	3,568			3,568	
		(内)非常勤職員分	⑩	千円	0	0	0	0	0			0	
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪	千円	64,548	73,444	68,173	67,412	61,881	62,503				
	単位あたりコスト(⑪-⑥)÷①	⑫	円	893	679	666	653	650	668				
	財源	受益者負担分	⑬	千円	0	0	0	0	0			0	
		国からの補助金等	⑭	千円	0	0	0	0	0			0	
		都からの補助金等	⑮	千円	8,759	4,890	4,890	4,890	4,890			4,890	
		その他の補助金等	⑯	千円	0	0	0	0	0			0	
特定財源計⑬+⑭+⑮+⑯		⑰	千円	8,759	4,890	4,890	4,890	4,890	4,890				
差引:一般財源⑰-⑬		⑱	千円	55,789	68,554	63,283	62,522	56,991	57,613				
受益者負担比率⑬÷⑪	⑲	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					

# 平成23年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 152

22年度の事業実施状況	(1) 主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		ふれあい入浴(事業委託)	1,569	回	49,424
	まちの湯健康事業(委託)	354	回	8,850	
		その他 ( 事務費 )			39
	(2) 事業実績	ふれあい入浴は31か所(22.4.1現在)で実施されており、実施回数は1,569回で利用人数は95,265人です。前年度に比べ、7,070人の減です。 まちの湯健康事業は22か所(22.4.1現在)で実施されており、実施回数は354回で参加人数は4,208人です。前年度に比べ、262人の増です。			

協働等点検	(1) 協働等は実現しているか <input type="text" value="十分に実現している"/>	(2) 協働等の相手 <input type="text" value="企業・個人事業者((3)へ)"/>	
	(3) 協働等の形態 <input type="text" value="協働[委託]"/>	(4) 協働等の今後のあり方 <input type="text" value="実施継続"/>	

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	・公衆浴場数 昭和49年度 111か所 → 平成22年度 31か所 → 平成23年度 30か所 22年度1か所が廃業となりました。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	・ふれあい入浴・・・自宅にお風呂があっても、広いお風呂は気持ちいいので利用している。現役で働いているので指定時間に行くことができない。一人暮らしの高齢者同士、銭湯に来て健康の確認をし合ったり、世間話をするのが楽しみとなっている。 ・まちの湯健康事業・・・とても良いので回数を増やしてほしい。
	今後の予測	高齢者人口は、今後も増加していくので、ふれあい入浴、まちの湯健康事業に対するニーズは一層高まっていくと思われませんが、利用時間や活動スペースにも限りがあること、また公衆浴場の新規開業は難しく、廃業、休業が予測されるので利用人数は、伸び悩むと思われま。
	評価と課題	21年度より、ふれあい入浴が週一回となったことは利用者にはすでに浸透しており、一人暮らしの利用者も多く、近所付き合いが少なくなっているなか、気軽に世間話ができる交流の場として、利用者のいきがいの一部となっているようです。このことから、身近なまちの湯銭湯は高齢者の孤立化を防ぐ役割を担っていると言えます。まちの湯健康事業の活動は長寿応援ポイントの対象になることから、参加者が毎年増加傾向にあり、利用者増加に対する対応が課題です。

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業の方向性	<input type="radio"/> 拡 充 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 縮 小 <input type="radio"/> 廃 止
		II 事業の改善	<input checked="" type="radio"/> 事業内容の変更 <input type="radio"/> 実施方法の変更
	ふれあい入浴、まちの湯健康事業とも、引き続きの高齢者の心身の健康づくりの場としての役割を担っていくと思われませんが、働く高齢者も増え、ライフスタイルも変化していく中で、今後、新しいニーズも出てくると思われま。実態を調査し、利用者の特性、安全性などの点から、浴場組合とも意見交換をし、事業内容の見直しをしていきます。		

特記事項	
------	--



# 平成23年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 153

22年度の事業実施状況	(1) 主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		風呂つと杉並 事業運営費助成	14	所	2,023
		その他 ( )			0
	(2) 事業実績	実施浴場が1か所増えて14か所となりましたが、実施回数は236回、利用者数は1,701人です。(21年度実施回数371回、利用者数2,684人)			

協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者((3)へ)	
	(3) 協働等の形態 協働[補助・助成]	(4) 協働等の今後のあり方 実施継続	

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	・公衆浴場数 昭和49年度 111か所 → 平成22年度 31か所 ・風呂つと実施浴場 13年度 9か所 → 22年度 14か所
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	近所なので集まりやすい。気軽に利用できるのがいい。
	今後の予測	現状のままだと、今後も利用者数が減少することが予想されます。
	評価と課題	実施浴場が1か所増えましたが、実施回数、利用者数とも減っています。まずは、高齢者の活動の拠点として、利用者を増やすためにPRを充実することが課題ですが、利用が伸びない理由の分析と解決策の検討も同時に行っていきます。

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業の方向性	○ 拡 充      ● 現状維持      ○ 縮 小      ○ 廃 止
		II 事業の改善	● 事業内容の変更      ○ 実施方法の変更
	高齢者が身近な場所で自主的な活動を継続できるよう、ゆうゆう館や高齢者活動支援センター等区施設の利用状況、浴場組合による本事業の実施状況等を把握しながら、支援のあり方を検討する必要があります。		

特記事項	
------	--

# 平成23年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		いきいきクラブの支援		款	4	項	1	目	2	事業	11	整理番号	154
担当部課名		保健福祉部高齢者施策課		係名	いきがい活動支援係		連絡先電話番号	1164		昨年度整理番号	151		
上位施策No・施策名		30 高齢者の社会参加と交流の拡大		予算事業区分							既定事業		
事務事業の概要	事業開始	昭和	▼	33	年度	<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野		政策番号	施策番号	事業コード	<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 主要事業		
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等		(1) 老人福祉法第4条、第13条2項 (2) 杉並区いきいきクラブ助成要綱							
	事業の目的・目標	(対象をどのような状態にしたいのか)		活動指標名(式)		(1) いきいきクラブ加入者数 (2)							
	活動内容	(事務事業の内容、やり方、手順)		成果指標		※(代)=適当な指標がない場合の代替指標							
○クラブ会員一人一人が社会貢献活動やいきがい活動を積極的に起こさない、高齢期をいきいき元気に生活できるようにします。 ○いきいきクラブ及びいきいきクラブ連合会の活動の活性化と、会員増加を支援します。		○いきいきクラブが実施する社会奉仕活動・友愛活動・健康増進活動・生きがい活動等のクラブ活動に対して、各クラブの会員数を考慮し助成する。 ○いきいきクラブ連合会及び地区連合会が実施する福祉大会・スポーツ大会・健康づくり教室等の事業に対して、助成する。		成果指標名(1)		いきいきクラブ加入率							
				算定式・指標の説明等		いきいきクラブ加入者数÷60歳以上の人口×100							
				成果指標名(2)		1ヶ月の社会奉仕活動回数(クラブあたり)							
				算定式・指標の説明等		社会奉仕活動回数÷全クラブ数÷12月							
区分		単位	20年度		21年度		22年度		23年度		計画(目標値)に対する22年度の達成率 %		
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画					
指標	活動指標(1)	①	人	7,051	8,000	6,778	7,000	6,459	6,500	92.3			
	活動指標(2)	②											
	成果指標(1)	③	%	5.5	5.9	5.1	6.0	4.7	6.0	78.8			
	成果指標(2)	④	回	19.5	20.0	14.7	20.0	14.0	20.0	70.2			
総事業費・コスト把握	事業費	⑤	千円	29,189	30,896	27,948	29,906	27,457	28,299	22年度予算執行率% 91.8			
	(内)投資的経費等	⑥	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項			
	(内)委託費	⑦	千円	0	28	0	21	21	20				
	職員数(常勤 非常勤)	⑧	人	0.70 0.00	0.65 0.00	0.65 0.00	0.65 0.00	0.65 0.00	1.00 0.00				
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	⑨	千円	6,335	5,771	5,771	5,798	5,798			8,920	
		(内)非常勤職員分	⑩	千円	0	0	0	0	0			0	
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪	千円	35,524	36,667	33,719	35,704	33,255	37,219				
	単位あたりコスト(⑪-⑥)÷①	⑫	円	5,038	4,583	4,975	5,101	5,149	5,726				
	財源	受益者負担分	⑬	千円	0	0	0	0	0			0	
		国からの補助金等	⑭	千円	0	0	0	0	0			0	
都からの補助金等		⑮	千円	3,165	3,300	3,095	3,200	3,052	3,200				
その他の補助金等		⑯	千円	0	0	0	0	0	0				
特定財源計⑬+⑭+⑮+⑯		⑰	千円	3,165	3,300	3,095	3,200	3,052	3,200				
差引:一般財源⑰-⑬		⑱	千円	32,359	33,367	30,624	32,504	30,203	34,019				
受益者負担比率⑬÷⑪	⑲	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					

# 平成23年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 154

22年度の事業実施状況	(1) 主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		いきいきクラブ助成金	80	団体	26,894
		福祉大会及びスポーツ大会分担金	1	団体	400
		指導者研修会及び都市交流懇談会	1	団体	100
		その他 ( 旅費、需用費、役員費 )			63
(2) 事業実績	<p>○いきいきクラブ(80クラブ)が、社会奉仕活動や友愛活動(13,484回)、健康増進活動(8,500回)、生きがい活動(9,690回)を実施しました。</p> <p>○いきいきクラブ連合会及び地区連合会(10地区)で、福祉大会7回(7地区7回)、スポーツ大会9回(1連合会6回・2地区3回)、健康づくり教室10回(1連合会1回・9地区9回)、東吾妻町との交流懇談会等を実施しました。</p> <p>○会長の健康上の理由及び後継者不在により、1団体が解散となりました。</p>				

協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している	(2) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体((3)へ)
	(3) 協働等の形態 協働[補助・助成]	(4) 協働等の今後のあり方 実施継続

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	<p>昭和33年→3クラブ(60歳以上29,907人)で開始。</p> <p>平成5年→96クラブ、会員数12,071人(60歳以上95,172人、クラブ加入率12.6%)(会員数のピーク)</p> <p>平成10年→100クラブ、会員数11,606人(60歳以上107,118人、クラブ加入率10.8%)(クラブ数のピーク)</p> <p>平成21年→81クラブ、会員数6,778人(60歳以上134,259人、クラブ加入率5.0%)</p> <p>平成22年→80クラブ、会員数6,459人(60歳以上137,464人、クラブ加入率4.6%)</p> <p>高齢者人口は年々増加しているが、クラブ数及び会員数は年々減少しています。</p> <p>平成21年度から国及び都の要綱改正に伴い、1クラブあたりの会員数を「50人以上」から「30人以上」に改正しました。</p>
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	<p>○高齢者の生きがい活動の場として、また引きこもり防止の活動場所として、いきいきクラブの存在は不可欠である。○趣味に合ったサークル活動を行っている団体等がどこにあるのかわからない。○いきいきクラブに知り合いがいないと入会しづらい。○クラブ会員の高齢化が目立ち、若い世代の高齢者がいない。○魅力的な活動が行われていない。</p>
	今後の予測	<p>高齢者人口は年々増加しているが、会員の平均年齢が79.3歳となり、役員の高齢化、後継者不足、会員の病気等による減少が続いています。一方では、地域の高齢者をまとめてクラブを新たに設置する動きもあります。</p>
評価と課題	<p>区内全域にわたって設立されているクラブの活動により、広範囲にわたる高齢者の社会参加が促され、地域の福祉貢献や高齢者の生きがい活動を支援する役割を果たしています。クラブへの支援としては、各クラブの会員規模に応じた支援となるよう、平成23年度より、補助金の算定を定額分+人数加算から会員規模別(6区分)に変更しました。今後は、存続したくても存続が困難なクラブに対する区の支援のあり方について、検討することが課題です。</p>	

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業の方向性	○ 拡 充      ● 現状維持      ○ 縮 小      ○ 廃 止
		II 事業の改善	○ 事業内容の変更      ● 実施方法の変更
<p>いきいきクラブは、近年、クラブ数や加入者数の減少が続いていますが、依然として、高齢者の活動の場のひとつとしての役割は担っているといえます。</p> <p>今後、働く高齢者も増え、高齢者の意識やライフスタイルも変化していくことが予想され、高齢者の生きがい活動の支援のあり方全体を再構築する必要があります。いきいきクラブへの支援についても、その中のひとつとして検討していきます。</p>			

特記事項	
------	--



## 平成23年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		シルバー人材センター支援		款	4	項	1	目	2	事業	12	整理番号	155
担当部課名		保健福祉部高齢者施策課		係名	いきがい活動支援係		連絡先電話番号	1166		昨年度整理番号	152		
上位施策No・施策名		30 高齢者の社会参加と交流の拡大		予算事業区分						既定事業			
事務事業の概要	事業開始	昭和	▼	54	年度	<input type="checkbox"/> 実施計画事業		分野	政策番号	施策番号	事業コード	<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 主要事業	
	対象	<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等		(1) 高齢者等の雇用の安定等に関する法律第5条 (2) 杉並区シルバー人材センター補助金交付要綱							
	事業の目的・目標	(対象をどのような状態にしたいのか)		活動指標名(式)		(1) 就業実人員数 (2) 月平均会員数(各月末会員数の和÷12月)							
	活動内容	(事務事業の内容、やり方、手順)		成果指標		※(代)=適当な指標がない場合の代替指標							
○公益社団法人杉並区シルバー人材センター		○杉並区シルバー人材センターの円滑な事業運営のため、補助金の交付及び運転資金の貸付を行います。		成果指標名(1)		延べ受託件数							
○杉並区シルバー人材センターの安定した事業運営を図り、高齢者が就業等を通して、地域の中で生涯現役で活躍できるように支援します。		○杉並区シルバー人材センターの円滑な事業運営のため、補助金の交付及び運転資金の貸付を行います。		算定式・指標の説明等		月単位で実績のあった受託件数の累計							
○杉並区シルバー人材センターの円滑な事業運営のため、補助金の交付及び運転資金の貸付を行います。		○杉並区シルバー人材センターの円滑な事業運営のため、補助金の交付及び運転資金の貸付を行います。		成果指標名(2)		会員の就業率							
○杉並区シルバー人材センターの円滑な事業運営のため、補助金の交付及び運転資金の貸付を行います。		○杉並区シルバー人材センターの円滑な事業運営のため、補助金の交付及び運転資金の貸付を行います。		算定式・指標の説明等		就業実人員数÷月平均会員数							
区分		単位	20年度		21年度		22年度		23年度計画	計画(目標値)に対する22年度の達成率 %			
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績						
指標	活動指標(1)	①	人	1,895	2,030	1,908	2,082	2,071	2,100	99.5			
	活動指標(2)	②	人	2,695	2,900	2,869	3,000	2,994	3,000	99.8			
	成果指標(1)	③	件	16,639	21,357	17,108	23,197	17,665	25,200	76.2			
	成果指標(2)	④	%	70.0	70.0	69.2	69.4	69.2	70.0	99.7			
総事業費・コスト把握	事業費	⑤	千円	168,789	175,786	165,828	175,277	167,955	178,227	22年度予算執行率%	95.8		
	(内)投資的経費等	⑥	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項			
	(内)委託費	⑦	千円	0	0	0	0	0	0				
	職員数(常勤 非常勤)	⑧	人	0.25 0.00	0.25 0.00	0.25 0.00	0.25 0.00	0.25 0.00	0.25 0.00			0.30 0.00	
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	⑨	千円	2,263	2,220	2,220	2,230	2,230			2,676	
		(内)非常勤職員分	⑩	千円	0	0	0	0	0			0	
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪	千円	171,052	178,006	168,048	177,507	170,185	180,903				
	単位あたりコスト(⑪-⑥)÷①	⑫	円	90,265	87,688	88,075	85,258	82,175	86,144				
	財源	受益者負担分	⑬	千円	0	0	0	0	0			0	
		国からの補助金等	⑭	千円	0	0	0	0	0			0	
		都からの補助金等	⑮	千円	12,495	12,495	12,495	12,495	12,495			12,495	
		その他の補助金等	⑯	千円	0	0	0	0	0			0	
特定財源計(⑬+⑭+⑮+⑯)		⑰	千円	12,495	12,495	12,495	12,495	12,495	12,495				
差引:一般財源(⑰-⑬)		⑱	千円	158,557	165,511	155,553	165,012	157,690	168,408				
受益者負担比率⑬÷⑪	⑲	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					

# 平成23年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 155

22年度の事業実施状況	(1) 主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)
				シルバー人材センター運営助成	
		その他 ( シルバー人材センター運用資金貸付金 )			5,000
	(2) 事業実績	○事業周知支援(広報すぎなみ掲載)年間計60回 ○シルバー人材センターの活動状況等 ・事業収入額 948,523千円・ゆうゆう浜田山館及び和泉館に加え、H23年4月から下高井戸館を受託 ・H23年3月東京都が公益社団法人として認定(4月より公益社団法人)			

協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している	(2) 協働等の相手 社団法人・財団法人等公益団体((3)へ)	
	(3) 協働等の形態 協働[補助・助成]	(4) 協働等の今後のあり方 実施継続	

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	○総人口(区)に占める60歳以上の区民の割合:昭和54年 8.57% ⇒平成23年4月 25.96% ○シルバー人材センター会員数: 昭和54年度 1,280人⇒平成22年度末 2,994人
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	駐輪場などのシルバー就労先となる施設の利用者を対象に、昨年に続き、対象職種を追加して接客等アンケート調査を行い、概ね良い評価を得ました。 高齢者の安全就業に対する苦情(除草作業等の熱中症対策が不十分)がありました。
	今後の予測	会員数については、今後も高齢人口の増加や団塊の世代の加入により伸び続けますが、経済・雇用情勢の悪化を受け、契約金額が減少する傾向が予想されます。
	評価と課題	シルバー人材センターは、高齢者の就労の場の確保、社会参加の機会の確保に一定の役割を果たしています。センターではこれまでも、接客マナーの向上等提供サービスの質の向上に力を注いでいますが、センターの活動を支援する区としても、今後もサービスの質の維持向上に着目しながら、センターの事業活動を支援していきます。

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業の方向性	○ 拡 充      ● 現状維持      ○ 縮 小      ○ 廃 止
		II 事業の改善	● 事業内容の変更      ○ 実施方法の変更
	公益社団法人としてのシルバー人材センターが、「就業」を通じての社会参加に加え、「地域社会への貢献事業と社会奉仕活動」の機会も確保し、「生涯現役」で活躍できる地域社会づくりの受け皿としての役割を果たせるよう、区は今後も支援を継続します。 今後の支援方法については、公益社団法人移行に伴うシルバー人材センターの「中長期計画」の見直しを受け、補助金適正化の観点からの点検も行いながら、検討していきます。		

特記事項	
------	--

## 平成23年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		高齢者いきがい活動支援		款	4	項	1	目	2	事業	13	整理番号	156						
担当部課名		保健福祉部高齢者施策課		係名	いきがい活動支援係		連絡先電話番号	1164		昨年度整理番号	153								
上位施策No・施策名		30 高齢者の社会参加と交流の拡大		予算事業区分								既定事業							
事務事業の概要	事業開始	昭和	▼	58	年度	<input checked="" type="checkbox"/>	実施計画事業	分野	2	政策番号	3	施策番号	1	事業コード	1	<input checked="" type="checkbox"/>	行革計画事業	<input type="checkbox"/>	主要事業
	対象	<input checked="" type="checkbox"/>	個人	<input type="checkbox"/>	世帯	<input checked="" type="checkbox"/>	団体	<input type="checkbox"/>	その他	<input type="checkbox"/>	内部管理	概ね50歳以上の区民							
	根拠法令等	(1) 老人福祉法第4条 (2) 杉並区立高齢者活動支援センター及びゆうゆう館条例																	
	事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	○高齢者が生きがいを高める活動・学習・就業の場を利用して、地域の中で生涯現役で健康に暮らしていけるようになります。																	
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	○地域のNPO法人・団体等が行う高齢者のいきがい、健康づくり、パソコン教室等の講座の開催を支援します。 ○高齢者活動団体のネットワークづくりを図るため「高齢者いきいき事業協働推進連絡会」を開催します。 ○社会貢献意欲のある者に、技術・技能取得講座を開催し、修了後に、社会貢献スタッフとして登録し、講師の要望のあったグループ等に派遣します。 ○杉の樹大学をNPO法人に委託し開催します。 ○高齢者の就労支援をNPO法人に委託し開催します。																		
活動指標名(式)	(1) 支援対象の地域活動団体数 (2) 高齢者いきいき事業協働参加実施団体数																		
成果指標	※(代)=適当な指標がない場合の代替指標																		
成果指標名(1)	支援対象団体が行う事業の開催回数																		
算定式・指標の説明等																			
成果指標名(2)	社会貢献スタッフ年間延べ派遣人数																		
算定式・指標の説明等																			
区分	単位	20年度		21年度		22年度		23年度		計画(目標値)に対する22年度の達成率 %									
		実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画	実績											
指標	活動指標(1)	①	団体	—	—	—	8	8	10	100.0									
	活動指標(2)	②	回	24	30	31	35	31	31	88.6									
	成果指標(1)	③	回	—	—	—	360	392	360	108.9									
	成果指標(2)	④	人	256	400	486	500	426	500	85.2									
総事業費・コスト把握	事業費	⑤	千円	6,590	22,514	22,025	8,357	8,010	6,569	22年度予算執行率%	95.8								
	(内)投資的経費等	⑥	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項 成果指標(1)については、22年度まで、「1館あたりのゆうゆう館協働事業年間参加者数」を掲載していたが、23年度より整理番号175「ゆうゆう館の運営」に掲載しました。 20、21年度の事業費には、ゆうゆう館協働事業初年度備品、消耗品費が含まれます。22年度事業費から「ゆうゆう館の運営」に含まれます。									
	(内)委託費	⑦	千円	4,141	6,583	6,551	6,655	6,655	6,265										
	職員数(常勤 非常勤)	⑧	人	1.88 0.00	1.85 0.00	1.90 0.00	0.90 0.00	1.05 0.00	0.90 0.00										
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	⑨	千円	17,014	16,426	16,870	8,028	9,366						8,028				
		(内)非常勤職員分	⑩	千円	0	0	0	0	0						0				
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪	千円	23,604	38,940	38,895	16,385	17,376	14,597										
	単位あたりコスト(⑪-⑥)÷①	⑫	円	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	2,048,125	2,172,000	1,459,700										
	財源	受益者負担分	⑬	千円	0	0	0	0	0						0				
		国からの補助金等	⑭	千円	0	0	0	0	0						0				
		都からの補助金等	⑮	千円	4,139	11,265	11,266	4,177	4,178						3,284				
		その他の補助金等	⑯	千円	0	0	0	0	0						0				
特定財源計(⑬+⑭+⑮+⑯)		⑰	千円	4,139	11,265	11,266	4,177	4,178	3,284										
差引:一般財源(⑰-⑬)		⑱	千円	19,465	27,675	27,629	12,208	13,198	11,313										
受益者負担比率⑬÷⑪	⑲	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0											

# 平成23年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 156

22年度の事業実施状況	内容	規模	単位		事業費(千円)
			単	位	
(1)主な取組み	ゆうゆう館いきがい活動支援事業	169	回		669
	杉の樹大学	1	所		3,879
	高齢者のための起業支援・就業支援	1	所		2,744
	杉の樹ホール事業	40	回		195
	その他 ( 社会貢献スタッフ派遣、高齢者いきいき事業協働推進連絡会 )				523
(2)事業実績	<p>○てぬぐい体操など高齢者向けの健康事業の参加者が増加しています。健康事業の体操リーダーは、社会貢献スタッフが延426人活動しました。次年度は、自主グループ、ゆうゆう館協働事業活動として、引き継ぎました。</p> <p>○第27回杉の樹大学は50名の卒業生を送り出しました。各年の卒業生がグループで活動を続けています。</p> <p>○ゆうゆう高円寺南館で、就業・起業・地域活動を支援する講座32回(参加者373人)及び相談事業67人を実施しました。</p> <p>○いきいき事業推進連絡会は、年3回開催しました。</p>				

協働等点検	(1)協働等は実現しているか 十分に実現している	(2)協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体((3)へ)
	(3)協働等の形態 協働[その他]	(4)協働等の今後のあり方 推進

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	○区の高齢化率の推移(65歳以上の総人口に占める割合) 昭和50年7.42%、平成元年11.44%、平成20年18.68%、平成23年19.72%、
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	○健康事業は定員以上の集客があり、実施回数の増加や定員などについて見直しの要望があります。 ○杉の樹大学は好評のため、毎年応募者数が多く、定員数の増加などについて見直しの要望があります。 ○一人暮らしや、家に閉じこもっている方の外出支援策として、多くのメニューを用意するよう期待されています。
	今後の予測	○高齢社会が進む中、地域でいきがい、社会貢献活動を希望する方、健康事業、介護予防、認知症予防に関心が高まると予想されます。
評価と課題		杉の樹大学、就労支援、社会貢献スタッフ事業では、高齢者が行政サービスの受け手としてだけでなく、経験や能力をいかして事業を展開しており、今後も高齢者の活力を活かし、社会貢献につながる活動の支援はますます重要です。今後は、社会貢献スタッフの技術向上等、活動を継続するために必要な支援の内容について、介護予防事業サポーターの活用とあわせて見直すこと、利用者数の減った就労支援について事業周知方法を見直すことが課題です。

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業の方向性	○ 拡 充      ● 現状維持      ○ 縮 小      ○ 廃 止
		II 事業の改善	● 事業内容の変更      ○ 実施方法の変更
<p>平成23年度以降は、てぬぐい体操等の健康事業が、社会貢献スタッフが講師となり、自主グループやゆうゆう館の協働事業として実施する方法となるなど、今後も、高齢者が地域の活動でリーダーや講師となって地域貢献する動きは進んで行くと考えられます。</p> <p>それに対する区の役割には、地域で何か活動を始めようとする区民やグループに対する、社会貢献スタッフ等活動のリーダー役となる人材の紹介や、継続して活動しようとする区民や団体に対する必要な情報の提供などがあります。具体的な支援の仕組みについては、長寿応援ポイント事業の検証とあわせて検討します。</p>			

特記事項	
------	--



# 平成23年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 174

22年度の事業実施状況	内容	規模	単位		事業費(千円)
			単	位	
(1)主な取組み	高齢者ゲートボール場清掃等委託	1	所		266
	杉並区立高齢者活動支援センター運営協議会委員謝礼	11	人		66
	その他(光熱水費 ほか)				31
(2)事業実績	○高齢者ゲートボール場の維持管理、団体利用抽選などを実施しました。 ○杉並区立高齢者活動支援センター運営協議会を1回開催しました。 ○年間を通して、高齢者の健康相談等を実施しました。				

協働等点検	(1)協働等は実現しているか 十分に実現している	(2)協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体((3)へ)
	(3)協働等の形態 協働[委託]	(4)協働等の今後のあり方 実施継続

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	全国的にゲートボール人口は減少傾向にあり、高齢者ゲートボール場登録団体数は平成12年度の29団体をピークに減少し、平成18年度には17団体となりました。平成22年度は20団体が登録しています。高齢者活動支援センターは昭和58年に開設していますが、施設や備品等の老朽化が進んでいます。
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	杉並区立高齢者活動支援センター運営協議会や利用団体等から、施設の大規模改修に伴い、施設の設備や備品・消耗品類の新規購入などについて期待が寄せられています。
	今後の予測	高齢者人口が増加するとともに、スポーツなどを通じた社会参加の機会の拡充や健康相談などを希望する高齢者が増加していくと予測されます。
評価と課題		高齢者ゲートボール場の運営では、スポーツ活動を通じて高齢者の健康増進、社会参加の支援が、また、健康相談業務では、高齢者の健康面や生活全般に関する支援ができました。高齢者活動支援センター運営協議会では、施設事業運営の問題点や課題、これから予定されている大規模改修工事について討議しました。いずれも、長寿社会の進展に対応した事業運営が求められている事業です。引き続き利用対象となる区民や協議会委員等の意見が反映された、利用者本位の事業運営を実施していきます。

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業の方向性	<input checked="" type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止
		II 事業の改善	<input type="radio"/> 事業内容の変更 <input checked="" type="radio"/> 実施方法の変更
隣接する杉並清掃工場の建替工事に伴い、高齢者活動支援センター、高井戸地域区民センター、高井戸温水プールの大規模改修工事を平成23年度に実施します。改修後の施設については、利用者にとってより一層利用しやすい施設とするため、また、運営をより効果的、効率的に行うために指定管理者を選定し、管理・運営をお願いする予定です。これまで、高齢者活動支援センターでは、各種講座や健康づくりの事業、教養の向上やレクリエーション活動、介護予防拠点としての重要な機能を担ってきていましたので、管理・運営者が変更したことに伴う事業の停滞があってははいけません。更に、事業の対象を高齢者に限定せず、高齢者と異世代との交流を目的としたふれあい交流事業なども視野に入れて、事業を展開していきたいと考えています。そのため、今後は、指定管理者とより綿密に事業に関する協議を重ねた上で、利用者本位の事業運営を実施していく必要があります。高齢者ゲートボール場の運営については、現在の登録団体等の組織強化を図り、完全自主管理の高齢者ゲートボール場運営を目指します。			

特記事項	
------	--

## 平成23年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		ゆうゆう館の運営		款	4	項	1	目	2	事業	33	整理番号	175	
担当部課名		保健福祉部高齢者施策課		係名	施設担当係			連絡先電話番号	1152		昨年度整理番号	173		
上位施策No・施策名		30 高齢者の社会参加と交流の拡大		予算事業区分								既定事業		
事務事業の概要	事業開始	昭和	▼	38	年度	<input type="checkbox"/> 実施計画事業	分野		政策番号	施策番号	事業コード	<input checked="" type="checkbox"/> 行革計画事業	<input type="checkbox"/> 主要事業	
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人	<input type="checkbox"/> 世帯	<input checked="" type="checkbox"/> 団体	<input type="checkbox"/> その他	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	根拠法令等		(1) 杉並区立高齢者活動支援センター及びゆうゆう館条例 (2) 老人福祉法					
	事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	○NPO法人等の公共的な団体との協働により、効率的かつ魅力あるゆうゆう館の管理運営を図ります。							活動指標名(式)					
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	○ゆうゆう館の受付業務及び館清掃等をNPO法人等の公共的な団体に委託しています。 ○効率的かつ魅力あるゆうゆう館として運営していくため、評価委員会を開催し、ゆうゆう館協働事業実施団体に対する評価を行います。 ○新たにゆうゆう館の協働事業実施団体を選定するため、選定委員会を開催します。							成果指標 ※(代)=適当な指標がない場合の代替指標					
成果指標名(1)		協働化率												
算定式・指標の説明等		協働事業実施館数÷ゆうゆう館数												
成果指標名(2)														
算定式・指標の説明等														
区分		単位	20年度		21年度		22年度		23年度		計画(目標値)に対する22年度の達成率 %			
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画	実績					
指標	活動指標(1)	① 館	16	23	23	28	28	32	100.0					
	活動指標(2)	② 人	40,364	62,100	52,372	84,000	71,109	86,400	84.7					
	成果指標(1)	③ %	52.0	72.0	72.0	87.5	87.5	100.0	100.0					
	成果指標(2)	④ 人												
総事業費・コスト把握	事業費	⑤ 千円	134,437	186,802	173,417	219,957	219,064	248,557	22年度予算執行率% 99.6					
	(内) 投資的経費等	⑥ 千円	0	0	0	5,355	4,794	4,932	<b>特記事項</b> ●平成22年度から協働事業実施団体に対する支援経費の予算が当事業に移管したことにより、東京都からの補助金の歳入が生じました。 ●これまで、成果指標(2)については、整理番号156「高齢者いきがい活動支援」に掲載していましたが、事務の移管に伴い、「ゆうゆう館の運営」に掲載します。					
	(内) 委託費	⑦ 千円	134,267	186,494	173,273	211,273	211,101	241,121						
	職員数(常勤 非常勤)	⑧ 人	0.96   0.23	0.99   0.29	0.96   0.23	0.96   0.50	1.39   0.30	1.42   0.25						
	人件費	(内) 常勤職員分(超勤分含)	⑨ 千円	8,688	8,790	8,524	8,563	12,399					12,666	
		(内) 非常勤職員分	⑩ 千円	644	810	642	1,475	885					738	
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪ 千円	143,769	196,402	182,583	229,995	232,348	261,961						
	単位あたりコスト(⑪-⑥)÷①	⑫ 円	8,985,563	8,539,217	7,938,391	8,022,857	8,126,929	8,032,156						
	財源	受益者負担分	⑬ 千円	0	0	0	0	0					0	
		国からの補助金等	⑭ 千円	0	0	0	0	0					0	
		都からの補助金等	⑮ 千円	0	0	0	2,540	4,170					3,630	
		その他の補助金等	⑯ 千円	0	0	0	0	0					0	
		特定財源計(⑬+⑭+⑮+⑯)	⑰ 千円	0	0	0	2,540	4,170					3,630	
差引: 一般財源(⑪-⑰)		⑱ 千円	143,769	196,402	182,583	227,455	228,178	258,331						
受益者負担比率⑬÷⑪	⑳ %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0							

# 平成23年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 175

22年度の事業実施状況	(1) 主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)
				ゆうゆう館受付等業務委託(うち協働事業館28館)	28
		新規協働事業館実施館支援(備品・消耗品購入)	6	館	7,729
		ゆうゆう館評価・選定委員会開催	6	回	354
		その他 ( )			0
	(2) 事業実績	平成20年度にゆうゆう館協働事業を開始した2団体の本格評価を実施しました。また、平成23年度から、ゆうゆう館協働事業を開始する4団体を選定しました。これにより、平成23年度から区内32箇所あるゆうゆう館の全てが協働事業実施館となります。			

協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 一部実現している	(2) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体((3)へ)	
	(3) 協働等の形態 協働[委託]	(4) 協働等の今後のあり方 推進	

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	受付等業務委託館は、平成18年度に16館(うち協働事業館9館)で行っていました。平成22年度は28館(うち協働事業館28館)になりました。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	館の管理運営については概ね順調に行われています。また、受託団体の接客姿勢についても満足しているとの意見もいただいています。また、利用者のニーズにあった協働事業を幅広く実施することに伴い、利用者数は順調に増加しています。ただし、夜間利用が低調なゆうゆう館が多いことや従来からゆうゆう館を利用していた高齢者団体等からは、希望する日時での活動ができなくなったなどの苦情も寄せられています。
	今後の予測	受付等業務委託館は、平成23年度に32館(うち協働事業館32館)になります。
	評価と課題	ゆうゆう館の施設運営が、効率的でかつ魅力あるものとしていくため、NPO法人等との協働を進めました。22年度には、32館中28館が協働事業館となりました。また、平成20年度に開始した協働事業実施団体の本格評価を実施するとともに、新たな協働事業実施団体を選定するため、評価・選定委員会を開催しました。平成23年度から全32館で協働事業実施となるため、今後も、ゆうゆう館の協働事業が一定の水準をもって継続できるよう、またさらなる質の向上が図れるよう、必要な評価を実施していきます。

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業の方向性	○ 拡 充      ● 現状維持      ○ 縮 小      ○ 廃 止
		II 事業の改善	○ 事業内容の変更      ● 実施方法の変更
		平成23年度からゆうゆう館32館で、協働事業実施館となり、受付等業務も委託することになりました。今後、高齢社会が進む中で、ゆうゆう館の存在意義はますます高くなると予想され、ゆうゆう館の更なる管理・運営の充実が求められます。それを実現するためには、ゆうゆう館協働事業及びその実施団体の質と力量等を担保する必要があり、今後も「杉並区ゆうゆう館協働事業実施団体選定・評価委員会」において必要な評価を実施していきます。また、これまでは、各館での協働事業の企画にとどまっていたが、今後は、地域でテーマを掲げ、複数館で協力して協働事業を実施するなど、事業の広がりを持たせていくなど協働事業の充実も求められています。そのために、ゆうゆう館の協働事業者同士で協力し合える働きかけを区が積極的にしていく必要があります。	

特記事項	
------	--





# 平成23年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 176

22年度の事業実施状況	(1) 主な取組み	内 容	規 模	単 位	事業費(千円)
		ゆうゆう館事業委託	5201	人	10,488
	高齢者活動支援センター事業委託	2550	人	1,061	
	その他（需用費、役務費）			1,931	
	(2) 事業実績	ゆうゆう館では月1回又は2回実施し、1回平均10.8人の方が施術を受けました。 高齢者活動支援センターでは年289日実施し、1日平均8.8人の方が施術を受けました。			

協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している	(2) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体((3)へ)	
	(3) 協働等の形態 協働[委託]	(4) 協働等の今後のあり方 実施継続	

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	ゆうゆう館 13年度4,309人 17年度4,787人 22年度5,201人 高齢者活動支援センター 13年度2,288人 17年度2,744人 22年度2,550人
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	○現在、原則として施術は1月あたり1回しか受けられないので、利用できる回数を増やしてほしいとの要望があります。 ○三療サービス協議会の施術者は、1日に7人まで受付できる(現在6人)との申し立てがあります。
	今後の予測	利用者はほぼ固定していますが、毎年新規の利用者もあり、今後も減ることは無いと思われます。
	評価と課題	○ゆうゆう館、高齢者活動支援センターとも利用者には概ね良好な評価をいただいておりますが、ゆうゆう館によっては定員12名では希望者全員施術を受けられない場合もあるため、今後、実施時間・回数の変更により定員増が可能かどうか検討します。 ○例年、施術者の技術のばらつきによる施術者に対する不満が多くありましたが、技術研修会等実施により今年度は減少しています。今後も技術水準の維持向上に留意し、事業者に対する必要な助言や支援を続けていきます。

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業の方向性	○ 拡 充      ● 現状維持      ○ 縮 小      ○ 廃 止
		II 事業の改善	● 事業内容の変更      ○ 実施方法の変更
	高齢者活動支援センターにおいては、24年度から指定管理者制度を導入し、高齢者だけでなく一般区民も利用対象者に含めるなど、サービス内容が変更されます。新しい運営方法による利用の実態を踏まえ、必要な事業内容の見直しを進めます。		

特記事項	
------	--

## 平成23年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		敬老事業		款	4	項	1	目	2	事業	35	整理番号	177
担当部課名		保健福祉部高齢者施策課		係名	いきがい活動支援係		連絡先電話番号	1164		昨年度整理番号	175		
上位施策No・施策名		30 高齢者の社会参加と交流の拡大		予算事業区分								既定事業	
事務事業の概要	事業開始	昭和	▼	27	年度	<input type="checkbox"/> 実施計画事業	分野	政策番号	施策番号	事業コード	<input type="checkbox"/> 行革計画事業	<input type="checkbox"/> 主要事業	
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人	<input type="checkbox"/> 世帯	<input type="checkbox"/> 団体	<input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 内部管理	根拠法令等	(1) 老人福祉法第4条、5条、第13条第1項 (2)					
	事業の目的・目標	(対象をどのような状態にしたいのか) ○対象者が、後期高齢期を健やかに過ごし、これからの活動への意欲が高められるようにします。 ○敬老会や地域交流会の開催により地域のこどもたちを含む人々と交流することで、孤立しがちな高齢者の孤独感の解消を図ります。						活動指標名(式)	(1) 敬老会・半寿顕彰式典参加者数 (2) 祝い品贈呈者数(75歳、81歳、100歳以上)				
	活動内容	(事務事業の内容、やり方、手順) ○高齢者の長寿を祝うため、式典及び演芸会を開催します。 ○対象者に敬老祝い品を贈呈(戸別配送)します。						成果指標	※(代)=適当な指標がない場合の代替指標				
	成果指標名(1)	敬老会・半寿顕彰式典来場率		算定式・指標の説明等	来場者÷対象者数×100								
	成果指標名(2)			算定式・指標の説明等									
区分		単位	20年度		21年度		22年度		23年度		計画(目標値)に対する22年度の達成率 %		
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画					
指標	活動指標(1)	①	人	4,201	5,000	4,505	5,000	5,018	5,000	100.4			
	活動指標(2)	②	人	8,306	8,306	8,468	8,480	8,373	9,090	98.7			
	成果指標(1)	③	%	8.0	9.0	8.6	10.0	9.3	10.0	93.0			
	成果指標(2)	④	%										
総事業費・コスト把握	事業費	⑤	千円	32,057	38,240	34,420	35,978	33,370	37,842	22年度予算執行率%	92.8		
	(内)投資的経費等	⑥	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項			
	(内)委託費	⑦	千円	10,495	13,151	11,972	11,069	11,067	10,721				
	職員数(常勤 非常勤)	⑧	人	1.35 0.00	1.35 0.00	1.35 0.00	1.35 0.00	1.75 0.40	1.00 0.20				
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	⑨	千円	12,218	11,987	11,987	12,042	15,610	8,920			
		(内)非常勤職員分	⑩	千円	0	0	0	0	1,180	590			
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪	千円	44,275	50,227	46,407	48,020	50,160	47,352				
	単位あたりコスト(⑪-⑥)÷①	⑫	円	10,539	10,045	10,301	9,604	9,996	9,470				
	財源	受益者負担分	⑬	千円	0	0	0	0	0	0			
		国からの補助金等	⑭	千円	0	0	0	0	0	0			
都からの補助金等		⑮	千円	6,771	7,932	7,117	6,935	6,925	7,133				
その他の補助金等		⑯	千円	0	0	0	0	0	0				
特定財源計(⑬+⑭+⑮+⑯)		⑰	千円	6,771	7,932	7,117	6,935	6,925	7,133				
差引:一般財源(⑰-⑬)		⑱	千円	37,504	42,295	39,290	41,085	43,235	40,219				
受益者負担比率⑬÷⑪	⑲	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					

# 平成23年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 177

22年度の事業実施状況	(1) 主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		敬老会・半寿顕彰式典開催	6	回	13,647
	75歳・81歳祝い品贈呈	8,054	人	16,953	
	長寿祝い品贈呈	319	人	2,766	
	その他（敬老イベント・地域交流会）			4	
(2) 事業実績	○杉並区敬老会・半寿顕彰式典開催(式典、こどもたちの歌や踊り、千昌夫歌謡ショー) 敬老会への参加申込数は対象者の約12%です。 ○75歳・81歳祝い品贈呈 カタログギフト ○長寿祝い品贈呈 カタログギフト、肌着セット、補聴器具のうちから1点選択 ○都内最高齢女性の所在不明が発見されたことを期に、100歳以上の高齢者の訪問調査を行いました。				

協働等点検	(1) 協働等は実現しているか <input type="text" value="一部実現している"/>	(2) 協働等の相手 <input type="text" value="企業・個人事業者((3)へ)"/>	
	(3) 協働等の形態 <input type="text" value="委託 [業務量の50%未満に相当]"/>	(4) 協働等の今後のあり方 <input type="text" value="実施継続"/>	

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	事業(敬老会)を開始した当時は娯楽の少ない時代であったが、現在は日常的に趣味や娯楽を楽しめる時代です。75歳以上の高齢者人口(区総人口に対する比率)は、昭和27年2,993人(0.8%)から平成23年の54,471(10%)人へ推移しています。
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	75歳・81歳祝い品を自分で選べるカタログギフトを選定したため、苦情は少なく、お礼の電話や手紙が多数ありました。対象年齢について一般的な長寿の祝い年ではないという意見もありました。敬老会の開催内容については、歌謡ショー以外の落語などのお笑い関係、クラシックコンサートを希望する声や記念品や商品券を希望する声がありました。
	今後の予測	対象者の増加に伴い、ますますイベントや祝い品に対する価値観の多様化が進みます。敬老会は平日開催に伴い、場内整理、健常者の誘導を公会堂に委託します。今後も委託を進めていきます。
評価と課題	祝い品については、カタログギフトにより自分の好みで選べる方式としたことで、対象者の満足度は高まっていますが、一方で、回答がない対象者への対応に手間がかかっており、事務の効率化が課題です。 敬老会については、平成8年度から対象者年齢を70歳から75歳に引き上げましたが、今後も対象者数が増加するほか、近年は介助を要する来場者も増加していることから、企画内容だけでなく安全面からも開催形式の検討が必要です。	

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業の方向性	○ 拡 充      ○ 現状維持      ● 縮 小      ○ 廃 止
		II 事業の改善	○ 事業内容の変更      ● 実施方法の変更
敬老事業については、事業開始から60年余りを経過していますが、開始当時とは、高齢化率も大きく異なるほか、高齢者のライフスタイルや価値観も変わってきています。 区として長寿に対する敬意を伝えることは重要ですが、高齢者に喜ばれる、時代の変化にあった今後の敬老事業について、あらためて検討する必要があります。			

特記事項	
------	--

## 平成23年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		長寿応援ポイント事業		款	4	項	1	目	2	事業	36	整理番号	178					
担当部課名		保健福祉部高齢者施策課		係名	長寿応援ポイント担当		連絡先電話番号	1166		昨年度整理番号	176							
上位施策No・施策名		30 高齢者の社会参加と交流の拡大		予算事業区分								既定事業						
事務事業の概要	事業開始	平成	▼	21年度	<input checked="" type="checkbox"/>	実施計画事業	分野	II	政策番号	3	施策番号	①	事業コード	3	<input type="checkbox"/>	行革計画事業	<input checked="" type="checkbox"/>	主要事業
	対象	<input checked="" type="checkbox"/>	個人	<input type="checkbox"/>	世帯	<input checked="" type="checkbox"/>	団体	<input type="checkbox"/>	その他	<input type="checkbox"/>	内部管理	根拠法令等 (1) 杉並区長寿応援ポイント事業実施要綱 (2) 杉並区長寿応援ポイント事業運営委員会設置要綱						
	事業の目的・目標	(対象をどのような状態にしたいのか) ○高齢者の社会参加を促進し、活動がより活発になることで、高齢者自身の健康増進やいきがいの向上を図るとともに、要介護状態になる年齢を遅らせます。さらに、その活動によってお互いや地域のための「支えあい」の活動が進展するようにします。										活動指標名(式) (1) 活動登録グループ件数(累計) (2) ポイント交換者数						
	活動内容	(事務事業の内容、やり方、手順) ○区が認定した「地域貢献活動」等へ高齢者が参加したときポイントを配布する。貯めたポイントは、区内共通商品券との交換及び地域活動団体の助成を行うため設置した長寿応援ファンドへの寄付に活用する。 ○円滑な事業運営を図るため、長寿応援ポイント事業運営委員会を設置する。 ○業務は民間事業者へ委託する。										成果指標 ※(代)=適当な指標がない場合の代替指標 成果指標名(1) (代)週2回以上外出している高齢者の割合 算定式・指標の説明等 区民意向調査による 成果指標名(2) 算定式・指標の説明等						
区分		単位	20年度		21年度		22年度		23年度		計画(目標値)に対する22年度の達成率 %							
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画	実績									
指標	活動指標(1)	①	件		1,000	923	1,500	1,096	1,500			73.1						
	活動指標(2)	②	人		-	-	2,000	2,712	4,000			135.6						
	成果指標(1)	③	%			89.4	87.0	89.1			102.4							
	成果指標(2)	④																
総事業費・コスト把握	事業費	⑤	千円	0	23,831	20,722	69,147	53,105	79,774	22年度予算執行率%		76.8						
	(内)投資的経費等	⑥	千円	0	0	0	0	0	0	<b>特記事項</b> ①22年度からポイント交換申請を開始したため、21年度の活動指標(2)への記載はありません。 ②ポイント交換者数は計画を上回りましたが、交換ポイントは予想を下回ったため、予算執行率が76.8%になりました。								
	(内)委託費	⑦	千円	0	14,091	14,063	43,923	34,429	29,348									
	職員数(常勤 非常勤)	⑧	人	0.00 0.00	1.00 0.00	1.59 0.00	2.00 0.00	2.25 0.30	2.00 0.10									
	(内)常勤職員分(超勤分含)	⑨	千円	0	8,879	14,118	17,840	20,070	17,840									
	(内)非常勤職員分	⑩	千円	0	0	0	0	885	295									
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪	千円	0	32,710	34,840	86,987	74,060	97,909									
	単位あたりコスト(⑪-⑥)÷①	⑫	円		32,710	37,746	57,991	67,573	65,273									
	財源	受益者負担分	⑬	千円	0	0	0	0	0				0					
		国からの補助金等	⑭	千円	0	0	0	0	0				0					
都からの補助金等		⑮	千円	0	0	0	16,786	16,786	17,251									
その他の補助金等		⑯	千円	0	0	0	0	0	0									
特定財源計(⑬+⑭+⑮+⑯)		⑰	千円	0	0	0	16,786	16,786	17,251									
差引:一般財源(⑰-⑬)		⑱	千円	0	32,710	34,840	70,201	57,274	80,658									
受益者負担比率⑬÷⑪	⑲	%		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0										

# 平成23年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 178

22年度の事業実施状況	(1) 主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		運営委員会事務費	17	回	434
		普及啓発費			1,687
		事務運営委託等			50,984
		その他 ( )			0
(2) 事業実績		平成21年10月のポイント配布の開始に続き、平成22年4月からポイント交換の開始、長寿応援ファンドの設置、平成23年3月にはファンドを活用する活動助成団体の公募と、事業創設時に設計した仕組みをひとつと具体化しました。また、参加高齢者及び活動団体にアンケート調査を行ったほか、事業PRのためのシンボルマークを作成しました。平成22年度末の登録活動件数は1,096活動、ファンドへの寄付金額は3,140,500円です。			

協働等点検	(1) 協働等は実現しているか		(2) 協働等の相手	
	十分に実現している ▼		企業・個人事業者((3)へ) ▼	
	(3) 協働等の形態		(4) 協働等の今後のあり方	
	協働[委託] ▼		実施継続 ▼	

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	平成22年度末の65歳以上人口は104,029人で、そのうち介護保険認定者は24,355人です。平成22年度の杉並区高齢者実態調査報告書によれば、65歳以上でボランティア活動を行っている高齢者は6.3%、週2回以上外出している高齢者は84.1%です。また、生活に生きがいを感じている高齢者は81.0%です。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	ポイントが配られることで「張り合い(いきがい)がある」「新しい方も参加するようになった」等、概ね好評です。ポイント交換で得た商品券は様々な活用されており、また、寄付をして社会の役に立てることがうれしいとの声があります。一方、ポイントの管理が負担であるとの意見やポイント交換ができる場所を増やしてほしいとの要望があります。
	今後の予測	高齢者人口の増加とともに、事業参加者も増加する見込みです。平成21年10月から事業を開始し定着しつつあるとはいえ、長寿応援ポイントを知らない高齢者も多いため、事業周知に力を入れる必要があります。
評価と課題		参加高齢者及び活動団体にアンケート調査を実施した結果、「楽しみが増えた」「活動が活性化した」など好評な意見が多くありました。平成22年4月から開始したポイント交換により、長寿応援ファンドへの寄付も順調に進み、複数の活動団体へ助成ができる見込みです。活動登録数は1,096活動になりましたが、より多くの高齢者が気軽に活動に参加し、互いに支えあう仕組みをつくるとの事業主旨からすれば、さらに事業を周知する必要があります。

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業の方向性	○ 拡 充      ● 現状維持      ○ 縮 小      ○ 廃 止
		II 事業の改善	● 事業内容の変更      ○ 実施方法の変更
	新しく創設した事業であることから、今後は事業効果を測り、その結果を踏まえた事業のあり方を検討していく必要があります。 なお、事務運営については民間会社に委託しており、受付事務はゆうゆう館にも委託していますが、当面は、この実施方法を見直す予定はありません。		

特記事項	
------	--



# 平成23年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 245

22年度の事業実施状況	(1) 主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)
				建物総合管理委託	1
		光熱水費	1	所	18,720
		建物修繕、消耗品購入	42	回	1,669
		物品リース	1	年	355
		その他 ( 通信運搬費ほか )			172
	(2) 事業実績	高齢者活動支援センターの施設管理(受付業務を含む)に対する委託を実施しました。また、利用者の利便性の向上や施設利用の安全面を確保するため必要な維持管理を行うとともに、消耗品の購入等を行いました。更に、施設の老朽化に伴い、入浴施設などの修繕工事を実施しました。			

協働等点検	(1) 協働等は実現しているか <input type="text" value="一部実現している"/>	(2) 協働等の相手 <input type="text" value="企業・個人事業者((3)へ)"/>	
	(3) 協働等の形態 <input type="text" value="委託 [業務量の50%以上に相当]"/>	(4) 協働等の今後のあり方 <input type="text" value="推進"/>	

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	平成15年4月から高齢者団体の自主的な活動拠点とするため、事業はNPO法人へ委託し、受付業務を含めた施設管理は、併設の地域区民センターとの総合管理として、民間企業への委託を開始しました。また、老人福祉センターとして開館してから25年が経過し、施設全般で老朽化しています。清掃工場の立替に伴い、平成23年度に施設の改修工事を行い、平成24年度から新たな施設での運用を開始します。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	施設の改修に伴い高井戸地域区民センターや温水プール等も含め、一体的な管理・運営をしてほしい旨の要望があります。また、浴室の有料化を望む要望があります。
	今後の予測	改修工事後の施設は、高齢者活動支援センター、地域区民センター、温水プールの一体的な管理・運営をしていく必要があります。

評価と課題	60歳以上の区民の福祉増進を図り、各種相談や健康増進、教養の向上及びレクリエーション活動が円滑に行われるよう高齢者活動支援センターの施設・設備の維持管理を行いました。今後は、施設の大規模改修に伴い、高井戸地域区民センターや温水プール等の縦割り管理を見直し、建物一体の運営・管理を行うこと、また、これまで高齢者活動支援センターが果たしてきた役割を踏まえたうえで、幅広い年齢層が利用・交流できる施設整備を行うことが課題です。
-------	--

改善・見直しの方向 (中長期)	今後の方向性 (見直しの視点)	I 事業の方向性	○ 拡 充      ● 現状維持      ○ 縮 小      ○ 廃 止
		II 事業の改善	○ 事業内容の変更      ● 実施方法の変更
	施設の管理・運営は、指定管理者に委ねる予定であり、また、高井戸地域区民センター、高齢者活動支援センター及び温水プールの三施設が一体となった管理・運営が行われます。そのため、利用者の利便性の観点から指定管理者と密接に連絡を取り合うことはもとより、これまで以上に各施設の主管課との連携を密にして利用者の声が施設の管理・運営に反映されるようにする必要があります。		

特記事項	
------	--



# 平成23年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		ゆうゆう館の維持管理		款	4	項	1	目	6	事業	13	整理番号	246
担当部課名		保健福祉部高齢者施策課		係名	施設担当係			連絡先電話番号	1152		昨年度整理番号	244	
上位施策No・施策名		30 高齢者の社会参加と交流の拡大		予算事業区分								既定事業	
事務事業の概要	事業開始	昭和	▼	38	年度	<input type="checkbox"/> 実施計画事業	分野	政策番号	施策番号	事業コード	<input checked="" type="checkbox"/> 行革計画事業	<input type="checkbox"/> 主要事業	
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人	<input type="checkbox"/> 世帯	<input checked="" type="checkbox"/> 団体	<input type="checkbox"/> その他	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	根拠法令等	(1) 杉並区立高齢者活動支援センター及びゆうゆう館条例 (2) 老人福祉法第4条					
	事業の目的・目標	(対象をどのような状態にしたいのか) ○元気な高齢者の声が響き渡る地域社会が形成できるよう、生涯現役社会の地域拠点としてゆうゆう館が、高齢者のみならず地域住民の「いきがい学び」「ふれあい交流」「健康づくり」「憩い」の場として幅広く活用されるようにします。						活動指標名(式)	(1) 年間延利用者数 (2) 利用団体数(高齢者活動登録団体)				
	活動内容	(事務事業の内容、やり方、手順) ○32館のゆうゆう館を利用者が安全かつ快適に施設の利用ができるよう、施設の維持管理を行います。						成果指標	※(代)=適当な指標がない場合の代替指標				
	成果指標名(1)	60歳以上区民のゆうゆう館利用率						算定式・指標の説明等	年間延利用者数÷(60歳以上の区民人口×2回×12月)×100*月2回を標準利用回数とする				
	成果指標名(2)	ゆうゆう館団体用諸室平均稼働率						算定式・指標の説明等	実際の利用数÷利用可能回数				
区分		単位	20年度		21年度		22年度		23年度		計画(目標値)に対する22年度の達成率 %		
指標	活動指標(1)	①	人	310357	311000	367475	370000	403828	410000	109.1			
	活動指標(2)	②	団体	715	750	876	950	928	950	97.7			
	成果指標(1)	③	%	9.9	9.7	11.4	11.2	12.2	12.3	109.1			
	成果指標(2)	④	%	46	47	43	50	49	50	97.0			
総事業費・コスト把握	事業費	⑤	千円	121,962	117,121	99,783	86,954	81,524	105,440	22年度予算執行率% 93.8			
	(内)投資的経費等	⑥	千円	59,761	46,004	35,369	19,500	15,751	38,044	特記事項 ○成果指標の60歳以上区民のゆうゆう館利用率の計算に誤りがあったため、20年度実績から22年度計画まで再計算しました。			
	(内)委託費	⑦	千円	82,141	71,470	56,645	41,994	37,211	58,808				
	職員数(常勤 非常勤)	⑧	人	9.90 17.86	8.90 12.56	9.00 12.81	4.78 6.30	5.00 6.65	0.95 0.32				
	人件費	⑨	千円	89,595	79,023	79,911	42,638	44,600	8,474				
	(内)非常勤職員分	⑩	千円	50,008	35,080	35,778	18,585	19,618	944				
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪	千円	261,565	231,224	215,472	148,177	145,742	114,858				
	単位あたりコスト(⑪-⑥)÷①	⑫	円	650	596	490	348	322	187				
	財源	⑬	千円	0	0	0	0	0	0				
	受益者負担分	⑭	千円	0	0	0	0	0	0				
国からの補助金等	⑮	千円	0	0	0	0	0	0					
都からの補助金等	⑯	千円	0	0	0	0	0	0					
その他の補助金等	⑰	千円	0	0	0	0	0	0					
特定財源計(⑬+⑭+⑮+⑯)	⑱	千円	0	0	0	0	0	0					
差引:一般財源(⑱-⑬)	⑲	千円	261,565	231,224	215,472	148,177	145,742	114,858					
受益者負担比率⑬÷⑪	⑳	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					

# 平成23年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 246

22年度の事業実施状況	(1) 主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)
				施設修繕・消耗品購入等	215
		光熱水費	32	館	28,192
		建物保守管理委託	32	館	11,688
		浴室等改修工事	3	館	15,571
		その他 ( 謝礼金ほか )			13,968
	(2) 事業実績	ゆうゆう館の利用者が安全かつ快適に施設を利用できるよう、施設の修繕、施設保守管理委託などの維持管理を行うとともに、備品・消耗品などを購入しました。また、入浴事業の終了に伴い、浴室等を小集会室などに改修する工事を3館で実施しました。			

協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 一部実現している	(2) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体((3)へ)	
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当]	(4) 協働等の今後のあり方 推進	

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	○事業開始当初から、高齢者の「憩いの場」として敬老会館を設置してきましたが、平成17年9月に策定した「新たな敬老会館のあり方方針」により、新たに「いきがい学び」「ふれあい交流」「健康づくり」の役割・機能を付加し、現在ゆうゆう館として運営しています。 ○NPO法人等との協働による施設運営の拡大により、全館の年間利用者は増加しています。 ○平成19年度に事業開始当初から行っていた入浴事業を終了しました。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	入浴事業の終了に際し、一部の利用者から苦情がありましたが、多くの利用者からは好意的に受け取られています。
	今後の予測	NPO法人等との事業運営の協働化の拡大と併せて、これからの長寿社会に対応した施設改修等を進める必要があると予測されます。
	評価と課題	ゆうゆう館の施設・設備の維持管理を行うことで、利用者の安全かつ快適な施設の利用について貢献できました。さらに、浴室等の改修工事による小集会室などの設置を実施し、館の利便性を高めることができました。今後も、長寿社会の進展に対応した施設となるよう、トイレの改修工事や、老朽化した備品等のリース化などを実施していきます。

改善・見直しの方向 (中長期)	今後の方向性 (見直しの視点)	I 事業の方向性	● 拡 充      ○ 現状維持      ○ 縮 小      ○ 廃 止
		II 事業の改善	○ 事業内容の変更      ● 実施方法の変更
	ゆうゆう館全館でのNPO法人等との協働による施設運営が平成23年度から開始しました。そのことに伴い、ゆうゆう館全館で夜間開館が開始されましたが、夜間の利用率は依然として低い傾向にあり、今後、NPO法人等による事業の活発化や目的外使用等で有効活用が図れるようにしていくことが必要となります。また、ゆうゆう館の設備、備品等の老朽化が進んでいる一方で、ゆうゆう館を長寿社会に対応した施設にする必要があります。そのために、今後、併設施設の状況や施設の老朽化の程度等を勘案しながら計画的に大規模改修を実施していく必要があります。また、浴室等の小集会室化などの施設改修が平成23年度で終了するため、今後はトイレ改修を段階的に実施していきます。		

特記事項	
------	--

## 平成23年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		ゆうゆう館の改修		款	4	項	1	目	7	事業	5	整理番号	251	
担当部課名		保健福祉部高齢者施策課		係名	計画推進担当			連絡先電話番号	3232		昨年度整理番号	249		
上位施策No・施策名		30 高齢者の社会参加と交流の拡大		予算事業区分								投資事業		
事務事業の概要	事業開始	平成	▼	17	年度	<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野		政策番号	施策番号	事業コード	<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 主要事業			
	対象	<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理			根拠法令等		(1) 杉並区立高齢者活動支援センター及びゆうゆう館条例 (2) 老人福祉法第4条							
	事業の目的・目標	(対象をどのような状態にしたいのか) ○洋室の一体使用により、地域の介護予防拠点としての活用を図ります。			活動指標名(式)		(1) 洋室2部屋の一体使用が可能なゆうゆう館数(累計) (2)							
	活動内容	(事務事業の内容、やり方、手順) ○洋室続きの和室を洋室化する改修を行います。			成果指標		※(代)=適当な指標がない場合の代替指標 ゆうゆう館数に対する洋室2部屋の一体使用が可能なゆうゆう館数の割合							
区分		単位	20年度		21年度		22年度		23年度		計画(目標値)に対する22年度の達成率 %			
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画	計画					
指標	活動指標(1)	①	館	19	22	21	25	24	28		96.0			
	活動指標(2)	②												
	成果指標(1)	③	%	57.6	66.7	63.6	75.8	72.7	84.8		96.0			
	成果指標(2)	④												
総事業費・コスト把握	事業費	⑤	千円	26,210	22,500	18,484	22,500	19,802	31,800		22年度予算執行率% 88.0			
	(内)投資的経費等	⑥	千円	26,210	22,500	18,484	22,500	19,802	30,000		特記事項 予算額と執行額の差は、工事費の落差金によるものです。			
	(内)委託費	⑦	千円	26,210	22,500	18,484	22,500	19,802	31,800					
	職員数(常勤 非常勤)	⑧	人	0.13 0.00	0.23 0.00	0.23 0.00	0.23 0.00	0.23 0.00	0.23 0.00	0.23 0.00		ゆうゆう館数に高齢者活動支援センターも含まれます。ゆうゆう館と高齢者活動支援センターの合計は33館です。		
	人件費	⑨	千円	1,177	2,042	2,042	2,052	2,052	2,052					
	(内)非常勤職員分	⑩	千円	0	0	0	0	0	0					
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪	千円	27,387	24,542	20,526	24,552	21,854	33,852					
	単位あたりコスト	⑫	円	61,947	92,818	97,238	82,080	85,500	137,571					
	財源	受益者負担分	⑬	千円	0	0	0	0	0	0				
		国からの補助金等	⑭	千円	24,962	22,500	17,603	0	0	0				
都からの補助金等		⑮	千円	0	0	0	22,500	18,858	22,500					
その他の補助金等		⑯	千円	0	0	0	0	0	0					
特定財源計		⑰	千円	24,962	22,500	17,603	22,500	18,858	22,500					
差引:一般財源		⑱	千円	2,425	2,042	2,923	2,052	2,996	11,352					
受益者負担比率	⑲	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						

# 平成23年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 251

22年度の事業実施状況	(1) 主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)
				介護予防拠点整備(ゆうゆう井草館改修)	1
		介護予防拠点整備(ゆうゆう天沼館改修)	1	所	7,104
		介護予防拠点整備(ゆうゆう浜田山館改修)	1	所	6,713
		その他 ( )			0
	(2) 事業実績	介護予防拠点整備方針に基づき、ゆうゆう井草館ほか2館の改修工事を実施しました。			

協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者((3)へ)	
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当]	(4) 協働等の今後のあり方 実施継続	

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	昭和40年代に建設された施設が多く、建物自体の老朽化が進んでいます。施設の玄関への長いスロープや施設内の段差、トイレの男女共用など高齢者向け施設としては現在では考えられないような設備がそのまま残っています。また、和室2、洋室、茶室、浴室等からなる部屋の構成も現在の高齢者需要に合っていません。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	学識経験者、利用団体代表、区民代表、区職員で構成される「新たな時代の敬老会館のあり方検討会」が開催され、敬老会館の役割・機能について従来の「憩いの場」に加えて、「いきがい学びの場」「ふれあい交流の場」「健康づくりの場」の4本柱を基本とする提言を受けました(平成17年9月)。
	今後の予測	団塊の世代が高齢者となり、利用対象者は今後も増加します。それに伴い、元気高齢者層がこれまでの活動から一歩進んだ形で自らの生きがいを充実させる拠点として活用したり、虚弱な高齢者にも利用しやすい施設整備が望まれていくと思われま。
	評価と課題	平成23年度、高円寺北館等3館の和室の洋室化の改修工事を行うことをもって、併設施設の代替地確保ができていない下高井戸館を除き、計画を終了します。

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業の方向性	○ 拡 充      ○ 現状維持      ● 縮 小      ○ 廃 止
		II 事業の改善	○ 事業内容の変更      ○ 実施方法の変更
	平成17年9月の「敬老会館のあり方検討会」で提言された中の一つである「健康づくりの場(介護予防拠点)」として、ゆうゆう館の改修整備を行ってきました。整備方針では、洋室続きの和室を洋室化し一体使用ができるようになる館を対象とし、施設の開設年や改築・改修計画を踏まえ、平成17年度から平成23年度までに順次改修を行うとされました。平成23年度までに、併設施設の関係で改築工事ができていない下高井戸館を除き、当初の整備方針による改修は終了しますが、部屋の配置や、改修工事の予定の関係で対象から除外された館についても、今後の改修・改築の中で、介護予防拠点としてふさわしい施設整備を行っていきます。		

特記事項	
------	--

## 平成23年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		高齢者活動支援センターの改修		款	4	項	1	目	7	事業	6	整理番号	252			
担当部課名		保健福祉部高齢者施策課		係名	施設担当			連絡先電話番号	1153		昨年度整理番号	250				
上位施策No・施策名		30 高齢者の社会参加と交流の拡大		予算事業区分							投資事業					
事務事業の概要	事業開始	平成	▼	21	年度	<input type="checkbox"/> 実施計画事業	分野	政策番号	施策番号	事業コード	<input type="checkbox"/> 行革計画事業	<input type="checkbox"/> 主要事業				
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人	<input type="checkbox"/> 世帯	<input checked="" type="checkbox"/> 団体	<input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 内部管理	根拠法令等	(1) 杉並区立高齢者活動支援センター及びゆうゆう館条例 (2) 老人福祉法第4条								
	事業の目的・目標	(対象をどのような状態にしたいのか) ○平成23年度から始まる杉並清掃工場の建替工事に備え仮設熱源を設置するとともに、老朽化した設備の更新、耐震補強工事、諸室の配置や機能の見直しなどを行うことにより、利用者が快適で利用しやすいサービスを受けることができる施設に改修します。						活動指標名(式) (1) (2)								
	活動内容	(事務事業の内容、やり方、手順) ○平成21年度に耐震診断及び基本設計を行います。 ○平成22年度に実施設計及び改修中の代替施設の確保を行います。 ○平成23～24年度上半期に改修工事を行います。 ○設計から完成まで、地域住民及び利用者との意見交換に努めます。						成果指標 ※(代)=適当な指標がない場合の代替指標 成果指標名(1) 改修工事進捗率 算定式・指標の説明等 設計、工事、周辺整備を含む 成果指標名(2) 算定式・指標の説明等								
区分		単位	20年度		21年度		22年度		23年度		計画(目標値)に対する22年度の達成率 %					
			実績		計画	実績		計画(目標値)	実績		計画					
指標	活動指標(1)	①														
	活動指標(2)	②														
	成果指標(1)	③	%		30.0	30.0	60.0	60.0	90.0	100.0						
	成果指標(2)	④														
総事業費・コスト把握	事業費	⑤	千円	0	5,667	3,948	136,620	127,294	223,773	22年度予算執行率% 93.2						
	(内) 投資的経費等	⑥	千円	0	5,667	3,948	22,049	127,294	223,773	特記事項 ○改修工事の経費は、当初予算ではなく、補正予算で計上したため、22年度予算執行率が100%を大幅に上回っています。						
	(内) 委託費	⑦	千円	0	5,667	3,948	131,507	125,330	176,579							
	職員数(常勤 非常勤)	⑧	人	0.00 0.00	0.30 0.00	0.30 0.00	0.30 0.00	0.55 0.00	0.70 0.10							
	人件費	(内) 常勤職員分(超勤分含)	⑨	千円	0	2,664	2,664	2,676	4,906				6,244			
		(内) 非常勤職員分	⑩	千円	0	0	0	0	0				295			
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪	千円	0	8,331	6,612	139,296	132,200	230,312							
	単位あたりコスト(⑪-⑥)÷①	⑫	円													
	財源	受益者負担分	⑬	千円	0	0	0	0	0				0	0		
		国からの補助金等	⑭	千円	0	0	659	0	0				0			
		都からの補助金等	⑮	千円	0	0	0	0	0				0			
		その他の補助金等	⑯	千円	0	0	0	0	0				0			
特定財源計(⑬+⑭+⑮+⑯)		⑰	千円	0	0	659	0	0	0							
差引:一般財源(⑪-⑰)		⑱	千円	0	8,331	5,953	139,296	132,200	230,312							
受益者負担比率⑬÷⑪	⑲	%		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0								

# 平成23年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 252

22年度の事業実施状況	(1) 主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		実施設計の作成及び改修工事	1	所	122,644
		仮設建物の賃借	1	所	1,964
		仮設建物への引越	1	所	2,686
		その他 ( )			0
(2) 事業実績	平成22年11月に実施設計を完了し、その後工事業者の入札を行いました。 平成23年3月に議会の議決を経て工事業者を決定しました。 改修連絡会を2回開催するとともに、改修基本設計説明会2回、仮設建物工事説明会1回、改修工事説明会1回を実施しました。				

協働等点検	(1) 協働等は実現しているか	(2) 協働等の相手	
	十分に実現している ▼	NPO・ボランティア・市民活動団体((3)へ) ▼	
	(3) 協働等の形態	(4) 協働等の今後のあり方	
	協働[実行委員会・協議会] ▼	実施継続 ▼	

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	高齢者活動支援センター(旧老人福祉センター)は、昭和58年4月1日に地域区民センターとともに開館しました。竣工からは26年を経過した建物は、配管設備などが老朽化し、耐震基準を下回るなどの改修が必要な状態にあります。また、開館当時に設置していた宿泊施設が廃止され、高齢者需要が高い治療器コーナーの設置が必要になるなど、スペースの有効利用が必要な状況にあります。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	浴室にシャワー室や気泡風呂を設置すること、またトイレの洋式化や囲碁・将棋等ができるスペースの確保が求められています。
	今後の予測	平成24年度に改修工事は竣工する予定です。
評価と課題		改修工事は予定通り進行しており、改修後の施設を運営する指定管理者を選定することが今後の課題です。工事は平成24年度には竣工する予定です。

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業の方向性	○ 拡 充      ○ 現 状 維 持      ○ 縮 小      ● 廃 止
	II 事業の改善	● 事業内容の変更      ○ 実施方法の変更	
	平成24年度に改修工事は竣工する予定です。		

特記事項	
------	--